

平成29年度入学生用カリキュラムマップ

【中学校教職課程】

科目番号	科目名 (教科指導法は、各自が取得する教科に対応する科目を履修する)	学年	科目目的	到達目標	中学校教職課程修了に必要な資質能力大項目							
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目							
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
17JTEA1101	教 職 入 門	1	1. 中学校教諭または栄養教諭として必要な資質能力や基礎的知識について講じる。 2. 特に教職の意義および役割、職務内容についての理解を深める。 3. 教育への理解と教職への関心を高め、進路選択における主体的な夢を喚起し、以後の学年次の教職課程履修への自覚と意欲を高揚させる。	①教職全体について総合的に理解し、2年間の大学生活および教職課程履修について、学ぶ意欲と計画性を高める。②教職の意義や教員の果たす役割を理解し、教職を志す意識を明確にもつ。③明確な教員像をもつことができるよう、教員の職務内容は校務分掌に基づき分担され、学校が組織として機能していることを理解する。	◎						◎	○
17JTEA1201	教 育 原 理	1	中学校教諭または栄養教諭に必要な教育の基礎的理論について、以下の諸点から講じる。 (1) 人間学・教育学 (2) 教育の意義・目的・理念・歴史・未来 (3) 人間形成と家庭・地域・社会との関係 (4) 教育実践の理論と実際	①教育的営みの意義・目的等を理解している。②子どもの成長発達に関わる教育者の役割について、歴史的経緯を踏まえて理解している。③人間形成と家庭・地域・社会の関係性を理解している。④教育実践の理論と実際の関連性を理解している。⑤現代教育の課題を把握し、解決策を探究することができる。	◎							○
17JTEA1202	教 育 心 理 学	1	1. 中学校教諭または栄養教諭として必要な基礎的な知識・技能について、心理学の視点から学ぶ。 2. 教育心理学の基礎知識や技能を学ぶことにより、教育の対象となる幼児・児童・生徒の発達と学習のプロセスへの理解を深める。	①教育心理学の基礎について正しい知識を身につけ、他者に説明できる程度に理解を深める。②学習者である幼児・児童・生徒の発達と学習について、教育心理学の基礎知識を活用して考えることができる。		◎						○
17JTEA1203	障害児の発達と教育	1	1. 特別支援学校教諭だけでなく、通常学級担任も各種障害について知識や技能が求められることの現状と背景について講じる。 2. 各種の障害を有する幼児児童生徒への効果的な教育や支援のあり方や関係機関との連携を密にした教育実践を行うため知識や技能を理解する。	①各種の障害および障害児について基本事項を理解する。②障害児を指導するための実態把握や指導方法を知る。③各種の障害に基づいた教育のあり方を理解する。④障害児を育てる保護者の心情を理解する。⑤障害児者が置かれている社会的状況を知る。⑥事例をもとに指導方法を考えることができる。		◎					○	○
17JTEA2204	教 育 行 政 学	2	1. わが国公教育の理念と制度およびその行政・政策システムについて教育行政学の視点から講義し、歴史と現状への理解を深める。 2. 現代の公教育制度を運営・管理・改革する教育行政およびその実践主体としての学校の経営と学級経営について、基礎的知識・技能を学ぶ。	①教育的行為が日常的に展開されている基本的な教育空間と教育機能等について、生涯学習社会論の視点から基礎的理解を得る。②公教育制度としての学校教育システムについて、教育行政学の視点から基礎的知識を得る。	◎						○	○
17JTEA1301	教 育 課 程 総 論	1	1. 新教育基本法によるわが国教育の基本的な目的と方向性を理解し、特に「新学習指導要領」の理念や教育課程についてその基本となる事項や実践上の課題等、具体的な理解を図る。 2. 現場での教育課程の編成、方法や技術など教育活動をより効果的に実践していくための運営とその能力を育成する。	①学習指導要領を理解し、教育課程編成の基準となる事項および教育活動の内容を理解する。②教育課程論、教育内容・方法論等に関する具体的実践事例を通して、学校教育のあり方、カリキュラムのあり方を常に問い直すことのできる能力と姿勢を身につける。						◎	○	

科目番号	科目名 (「教科指導法」は、各自が取得する教科に対応する科目を履修する)	学年	科目目的	到達目標	中学校教職課程修了に必要な資質能力大項目								
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目								
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
17JTEA1302	国語科指導法Ⅰ	1	中学校国語科の目的・内容・方法・評価について、基本的な知識を講じる。	中学校国語科教育を主体的に考え、創造する力を身につける。						◎			○
17JTEA2303	国語科指導法Ⅱ	2	国語科指導法Ⅰを踏まえ、中学校の国語科教育について、実践的な知識と理論を学ぶ。	国語科教材研究力および授業構想力を養う。						◎			○
17JTEA1304	英語科指導法Ⅰ	1	中学校英語科の目的・内容・方法・評価について、基本的な知識・技能を講じる。	①日本における英語教育の意義を考え、コミュニケーション能力養成のための基礎的な知識と技能を身につける。②英語教師に必要な英語力を高める。						◎			○
17JTEA2305	英語科指導法Ⅱ	2	英語科指導法Ⅰを踏まえ、中学校英語科について、さらに実践的な知識・技能を講じる。	①英語科指導法Ⅰを発展させ、英語指導法をより具体的に学習し、指導経験を多く積むことを目指す。②英語によるコミュニケーション能力養成に必要な要素を念頭に置きながら、その指導法を磨く。						◎			○
17JTEA1309	家庭科指導法Ⅰ	1	1. 中学校家庭科教育の意義や目標を理解する。 2. 家庭科の具体的な指導内容と指導計画、指導方法などについて学修する。	①教科としての家庭科を理解する。②授業実践をイメージしつつ適切かつ魅力的な授業計画を立てる。③家庭科教育の特性を踏まえて、教材を研究し、学習指導案を作成できる。						◎			○
17JTEA2310	家庭科指導法Ⅱ	2	家庭科指導法Ⅰで学修したことを踏まえ、教材の作成、模擬授業など実践的・体験的な学びを通して、家庭科教師としての実践力を育成する。	①技術・家庭科の家庭分野を担当するに当たり、適切な教材観・指導観を養う。②家庭科の目標を基に、指導項目の構成や学習過程を踏まえたカリキュラムの作成、情報機器の活用および学習題材の選択と運用、指導法の工夫等授業計画とその手法の基礎を身につける。③指導案に沿って授業を実践する指導力や目標に準拠した評価力や、新たな題材開発能力を養う。						◎			○
17JTEA2311	道徳教育指導論	2	1. 学校教育活動全体の中で、意図的・無意識的に道徳的な心情・判断力・実践意欲と態度などの道徳性を形成していることを知る。 2. その過程で、自らを律しつつ、人間として円満に成長する「あゆみ」について探究し、今後の道徳教育のあり方と実践方法・教材等について探求する。	①道徳教育に関する基本的な概念を理解する。②「生きる力」を育むことにより、中学生一人ひとりの豊かな心を育て、人生・社会を切り拓く実践的な力の育成を図る。③実際に中学校において道徳を指導する場面を想定し、指導案の作成や教材研究を試みながら「道徳の時間」を担当できる知識と技術を身につける。				○		◎	○	○	
17JTEA1401	生徒指導・進路指導	1	1. 学校現場において、いじめ・不登校・暴力行為・学級崩壊など様々な問題が生起している実態や背景・原因等を知る。 2. 生徒指導の意義を正しく理解するとともに、生徒指導上の課題にいかに対応し得るかを主体的かつ具体的に考察する。 3. 進路指導上の課題と対応について考察する。	①生徒指導の意義と機能について理解する。②教育課程と生徒指導の関連を理解する。③生徒指導体制の重要性を理解する。④青年期の心理と発達の特徴を理解する。⑤生徒理解の方法を理解する。⑥進路指導の意義と方法を理解する。						◎		○	
17JTEA2402	教育相談の理論と方法	2	1. 教師に求められる同僚や保護者と協働できるコミュニケーション能力、自己表現力を、臨床心理学やカウンセリング事例等に基づき講じる。 2. 「聴く」力を養い、問題行動の持つ意味、予防方法、問題が生じた時、教師や保護者ができることについて学ぶ。	①学校教育における教育相談の重要性について理解を深め、学校教育において直面する多様な問題に適切に取り組むことができる。②教育相談の知識と基礎的能力を修得する。③自分の考え方や価値観を自覚し、コミュニケーション能力を身につける。			◎	○	○				

科目番号	科目名 (「教科指導法」は、各自が取得する教科に対応する科目を履修する)	学年	科目目的	到達目標	中学校教職課程修了に必要な資質能力大項目							
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目							
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
17JTEA2501	教育実習指導(中)	2	1. 中学校教育の意義や実際の教育活動について、教師および生徒の実態を踏まえて総合的に学修する。 2. 教育実習の意義を理解する事前指導として、教職課程におけるこれまでの学びを踏まえ、中学校教諭としての必要な知識・技能・態度等を具体的に修得する。 3. 事後指導として、実習体験を振り返り自らの実践的課題を把握し中学校教諭への志を確認する。	①教育実習の意義を理解する。②教育実習に関する基本的な知識・技能・態度について学修する。③学習指導案作成の仕方を修得する。④学習指導案に基づき模擬授業を実施できる。⑤事前指導により教育実習に臨む意欲を高め、事後指導により教諭への志を確立する。	○	○	○	○	○	○	◎	◎
17JTEA2502	教育実習Ⅰ(中)	2	これまでの教職課程での学び全体を通して得た知識・技能と専門教育課程科目で得た知識・技能とを統合して、教育実習で積極的に活用する方法と態度を学ぶ。	中学校教諭としての使命感や責任感、社会的対人関係力、生徒理解と学級経営力、教科指導力および授業力を総合的に高める。①教師としての志＝目的意識および倫理観(感)を明確もつ。②教師・社会人としての対人関係能力を高める。③学級経営・生徒指導を実践する際の理念・構想・実践プランを具体的に描くことができる。④専門教科に要する基礎的な知識・技能を有し個別の授業を構想し、指導案を作成して、授業を展開できる。⑤専門教科以外の教育活動領域について、基礎的な知識・技能を有している。	○	○	○	○	○	○	◎	◎
17JTEA2503	教育実習Ⅱ(中)	2	これまでの教職課程での学び全体を通して得た知識・技能と専門教育課程科目で得た知識・技能とを統合して、教育実習で積極的に活用する方法と態度を学ぶ。	中学校教諭としての使命感や責任感、社会的対人関係力、生徒理解と学級経営力、教科指導力および授業力を総合的に修得する。①教師としての志＝目的意識および倫理観(感)を明確にもつ。②教師・社会人としての対人関係能力を高める。③学級経営・生徒指導を実践する際の理念・構想・実践プランを具体的に描くことができる。④専門教科指導に要する基礎的な知識・技能を有し個別の授業を構想し、指導案を作成して、授業を展開できる。⑤専門教科以外の教育活動領域について、基礎的な知識・技能を有している。	○	○	○	○	○	○	◎	◎
17JTEA2601	教職実践演習(中)	2	中学校教員の使命と役割、職務の内容を理解し、学校教育において教員に求められる実践力を最終確認し、補完指導を行う。	①中学校教員として高い教職倫理観を有している。②地域社会の人々から教員として信頼される対人関係を築くことができる。③生徒を臨床的に理解し、適切な理解を踏まえて、望ましい生徒指導および学級経営を展開することができる。④中学校教科を教授するに足る各専門分野の基礎的知識および技能を総合的に修得している。⑤自らが実施した専門教科の授業(模擬授業を含む)について自己評価を行い、これに他者評価を加えて、授業改善を行うための最小限の授業運営能力および態度を身につけている。	○	○	○	○	○	○	◎	◎
17JTEB1001	人権教育の理論と方法	1	1. 国際化、情報化、科学技術の進展など、急激な変化を見せている現代社会において、未来世代の子どもたちとともに新しい人権文化を育むことが教員に課せられていることを認識する。 2. そこで現代に適合した人権教育のあり方を探求し、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間形成について考察を深める。	①人権に関する諸問題が生じる要因について科学的に認識するとともに、その解決に向けての教育実践を構想できる教職の専門性を身につける。②また学習過程を通じて、自ら課題を見出し、人権教育の教育課程を自主編成できる能力を身につける。			○	○			◎	